

全員協議会 会議録（要点筆記）

午後 1 時 3 0 分 開会

午後 2 時 0 0 分 閉会

場所 : 全員協議会室

【上程議案の補足説明】

1. 半田市土地開発公社の経営状況について

坂元照幸総務部長：資料に基づき説明

質疑無し

2. 新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施について（4 回目接種分）

竹部益世福祉部長：資料に基づき説明

鈴木健一議員：接種方式について、個別接種はファイザー製とモデルナ製、集団接種はモデルナ製とワクチンの種類を分けている理由を教えてください。

竹部益世福祉部長：一定数、モデルナ製が渡されるため、集団接種ではモデルナ製を使用した方が効率的であり、個別接種では、モデルナ製とファイザー製を使用しています。必要数を考慮して、役割分担しています。

鈴木健一議員：ワクチンの数により、割り振りをしているということですか。

竹部益世福祉部長：間違い接種が起こらないようにするために、会場毎に使用できるワクチンを分けています。

3. 半田市議会の議員の議員報酬並びに半田市特別職員及び半田市職員の給与の改定等について

山田宰企画部長：資料に基づき説明

中川健一議員：会計年度任用職員の対応について、具体的に何をもって翌年度から適応することにしたのか、今までどうであったかを説明してほしい。

山田宰企画部長：（給与の改定については）これまで国の法改正が遅れたことはなく、初めてのことであり、会計年度任用職員においては遡って、調整額に影響が及ぶことは想定していませんでした。今回の改正は、調整額に対しても支払った額を回収することになりますが、会計年度任用職員については勤勉手当がない等のことから調整額について遡って回収することは考えないものとして、一部改正したいとするものです。なお、近隣の東海市、大府市も本市同様に調整額について減額を行わないこととしています。

中川健一議員：会計年度任用職員については、1 年間の任用ということのため、次年度は影響しないということですか。

山田宰企画部長：会計年度任用職員は、雇用前に雇用条件を提示し、本人が内容を確認の上、応募いただき任用しています。そのため、後から給与が減額されるということは好ましくないと考えています。

【報告案件】

1. ごみ減量協力への還元策（指定資源回収袋の配布）について

大山仁志市民経済部長：資料に基づき説明

伊藤正興議員：2 点伺います。配布対象の基準日は、令和 5 年 3 月 1 日、実際の配布は

6月1日とのことですが、転出された方は、配布されたごみ袋をどこで使うことを想定しているか教えてほしい。また、燃えるごみ袋不足が今年3月から続いており、5月に入っても不足している現状から、これだけのごみ袋の生産が間に合うのかどうか、どのように計画しているのか教えてほしい。

大山仁志市民経済部長：基準日を3月1日とした理由は、その年に減量に取り組んでいただいた方にごみ袋を贈りたいとの考えによるものです。6月配布時点で市内にみえない方もいると思いますが、その方々にも渡す予定です。市内にみえない方、例えば、単身赴任者や学生など、転出される場合には、市内にみえる方に渡して使っていただきたいと考えています。また、ごみ袋不足については、供給が間に合わない状況が続いていますが、少しでも早く打開したいと考え、早期に業者に納入計画の提出を求め、ごみ袋不足の状況を払拭していきたいと思っています。

伊藤正興議員：基準日を3月1日から1月1日にして、例えば2月1日に引き換え用のはがきを送付するなどしてはどうですか。あえて年度をまたぐ必要はないのではないかと考えます。また、今のごみ袋不足の状況を考え、この一連の計画に対応できるのか伺います。

大山仁志市民経済部長：（ごみ袋の配布は）1年間の減量取り組みに対し、どれだけ頑張っていたか考えたものです。また、その時までには、配布するごみ袋の量を確保できるよう進めていきます。

2. 新型コロナウイルス感染症の影響による「国民健康保険税」及び「介護保険料」の減免について

竹部益世福祉部長：資料に基づき説明

中川健一議員：減免の総額を教えてください。10分の4は国の補助になるのであるならば、10分の6は、納税者が保険料を負担することになるのか。誰が、保険を補填するのかを教えてください。

竹部益世福祉部長：令和3年度の状況を参考にお知らせします。当初は、10分の2が国の補助とされていましたが、10分の4補助に改正されました。残りの10分の6についても別の補助金で対応され、結果的に10分の10全額支援されました。現時点では、10分の6の補助については不明であるので、確認します。

午後 2時00分 閉会